

よしず

夏によく家の外に登場するよしずって知っていますか？

よしずは刈り取ってよく乾かしたアシ(イネ科の植物)で出来ています。アシの茎を麻糸や木綿糸で編み、両端に竹をつけたものを、部屋のしきりや太陽をさえぎるためにつるしたり、立てかけてつかいます。昔も今も日よけ対策などに大活躍してますね。

アシを使っているのでアシズと言いたいところですが、アシは「悪し」と通じるところがあることを嫌い「善し」にちなんでよしずと言うようです。



みのわを知ろう！

おびなしがわ
〈帯無川〉

おびなしがわ にしやま ひがし む きのした
帯無川は西山から東に向かって木下と

まつしま さかい なが てんりゅうがわ こうりゅう かわ
松島の境を流れて天竜川に合流する川

です。むかしこうぼうだい しきま かわ とお
昔弘法大師様がこの川を通りか

かった時、おび
帯をなくしてしまっ



なが
流れていったのかそれとも誰かに拾われてしまったのか、弘法様はいくら数珠を

もんで念じても駄目かとあきらめた。これを聞いた土地の百姓達は気の毒に思い、

木綿の帯でも良ければさしあげましようと言うと、「お気持ちはありがたいが、私は

60余りの州を巡って修行中のもの、善良な仏様の弟子が苦勞して作った尊い

品を甘えてうけとるわけにはいかない」と辞退した。「皆の衆、この川の名前はなんと申

される」「おぼうさま、これという名もありませぬ」「ならば私が帯を無くしたことに

ちなんで帯無川とよべばよい」と弘法様は色あせた墨染の衣を風になびかせながら気

ままに立ち去ったという。

小川守人著『箕輪の磊々』より



イベントのお知らせ

はくぶつかん 博物館はオープン前ですが、たの 楽しいイベントを かいさい 開催します♪

★どのイベントも参加無料です。ぜひあそびにきてね★

かぞくみな ご家族皆さんでお越しください！！



しょうさい しんぶん 詳細は新聞、みのわメイト などを お知らせしますので、ぜひご確認 かくにん ください。



●天体観察会●

★8月12日(月・祝)

午後7時30分～8時30分

文化センター前庭にて

夏の星雲・星団とペルセウス座流星群

などを観察します。

解説は天体観察企画「すばる」の皆さんです。

※悪天候の場合は中止します。



お問い合わせは、博物館まで Tel.79-4860

発行元：箕輪町郷土博物館



みのわがく ちゅうせん 箕輪学クイズに挑戦！！

(1) 江戸時代の長岡村には様々な職業の人がいました。

その中には、今はあまり聞かなくなった職業が
ありましたが、それはどんな職業でしょうか？

- ① パソコン ② おけや ③ 医師



(2) 町主催の「みのわ祭り」がはじまったのは何年でしょう？

- ① 1980年（昭和55年） ② 1987年（昭和62年） ③ 1995年（平成7年）

(3) 箕輪の方言で“くすがる”はどんな様子の時に使う言葉でしょう？

- ① くすぐったいようす ② くすくすわらっている ③ とげがささっている



★こたえ★

(1) ② ・ ・ 「おけや」今は少なくなった職業ですね。昔の道具おけは、水を
入れて使った、今でいう洗面器のような道具です。

壊れるとおけやに直してもらい再利用していました。

(2) ② ・ ・ 1980年に商工会が始めた納涼祭りが、1987年に町主催の
「みのわ祭り」になりました。

現在は実行委員会方式でおこなっています。



(3) ③ ・ ・ とげなどが指にささったときに『くすがったから取って！』と言います。



お問い合わせは、博物館まで Tel.79-4860

発行元：箕輪町郷土博物館